

託の計画推進にあたっては、まずこちらが主体的に計画を立て、進める中で入所者の多い自治体にも話をするというスタンスである。

**質問** 桜苑の臨時職員は短期間で辞めてしまう方が多いようだが、この状況をどう受けとめているか。

**答弁** 採用された方も長期継続という方もおるし、短期で退職された方もいる。ちなみに平成18年では採用4名のうち現在までで退職1名、19年採用3名のうち退職なし、20年採用5名のうち退職1名である。

理由はさまざまだと思う。

全般的に臨時職員と正職員の待遇の差の改善は必要と思っている。4月からは通勤手当を設けることとした。

**質問** 民間の運営になると人件費の水準が下がり、賃金を下げる方向になる。安ければいいと民営化する事は問題がある。

**答弁** 行財政改革につながるかどうかで判断し、民営化すれば安く済むというような安易な判断はしない。



大仙仙北市に1つの養護老人ホーム

## 議長インタビュー

# 平成21年第一回定例会 ふりかえって



問 初めに、3月定例会の感想を伺います。

今定例会で木質バイオマス導入を初め市立田沢湖病院・内陸線問題等重要な問題が山積していた。更に12月定例会で議会が議決した緊急雇用対策問題があった。(議員提出議案)

必ずしも議会で議論が活発で充分議論が深まったとは言えない。

各々個々の議員の研究調査が十分と言えない所もあり、今後議会で議論を深めなければならぬ。

問 党派制を採り議会がどの様に変わったと思いますか。

議会で党派性を採った

が、未だその効果が十分に発揮されているとは言えない。

党派によりその考え方が、行動が異なるが、いまだ旧市町村議会の体質を色濃く残しているからだ。

一日も早くそこから脱皮しないと本当の意味で党派制の本領が発揮されてこない

問 市当局と議会は常に車の両輪と言われますが、今の仙北市の現状をどうご覧になりますか。

市当局と議会は互いに相乗効果を発揮している。

議会は市民の問題、声を市当局に反映させるのがその役割である。

又市当局は議員の質問・要望を良く聞いておらず、市は縦の関係のみで、横の連携が無く大きな問題である。

市当局は市の現状・問



議長執務室

題点を十分議会に公開せず、市は議会を重視して対応してもらいたい。

議会も切磋琢磨し、更に努力して戴きたい。

問 以前議会主催で議会報告会をりましたが、その意義について。

議員が市民の中に入り、更に理解して戴く為、議会の存在価値・議員の果たす役割を理解して戴くためにも議会報告会を復活させ、各地域で開く

ことを検討した方がいいと思う。

問 最後に一言日頃考えておられることをお話し下さい。

今、仙北市を取り巻く状況は一層厳しくなっており、不況・離職者問題が深刻だ。今こそ、市民のためにその役割を果たさなければならぬ。